



図2 ルジャンドル多項式. 値域 $[-1, 1]$ に対して $n = 0, 1, 2, 3, 4, 5$ の場合.

てください.

4) ハイパーリンクの利用について

このテンプレートファイルは基本的に冊子体の抄録集を想定して作成されています. しかし, URL を記載することで読者の理解を深めるならば, その利用も可とします. ただし, あくまでも, 永続的に存在するであろう URL に留めてください.

5) 数式について

数式は原則として TeX の標準機能と AMS (American Mathematical Society, 米国数学会) の AMS-LaTeX を利用して下さい. 番号付き数式を記述するためには equation 環境

$$p(y|x) = \frac{p(y)}{p(x)} p(x|y), \quad (1)$$

もしくは eqnarray 環境

$$\int_a^b g(x) dF(x) = \lim_{\epsilon \downarrow 0} \int_{[a+\epsilon, b]} g(x) dF(x), \quad (2)$$

$$= \int_{(a, b]} g(x) dF(x), \quad (3)$$

を利用してください. スカラ, ベクトル, 行列, テンソル, 関数, 汎関数, 演算子, パラメータ, ハイパーパラメータ等をどのような記号で表記するかはルールを定めていません. 理解に支障がない一般に使われている表記を用いる, もしくは適当な説明・定義を加えた上での執筆をお願いします.

6) 参考文献について

文献は文中で引用された順に番号を付けることとし, スクウェアブラケットで, [1] [2], [3] もしくは [1-3] などと記載してください.

著者名は3名までとし, 以下は et al. または他, としてください. 雑誌はこのテンプレートの例の [1,2] に倣ってください. 著

書は和・英文ともに, 著書名, 書名, 巻数 (版数), 発行社名, 発行, 地名, 発行年 (西暦), 頁, の順に記載し, 分担執筆の場合, 分担者が明記してある場合はこれを記載してください. このテンプレートの例の [3,4] に倣ってください.

3. まとめ

テンプレートにしたがって原稿作成をお願い致します. 投稿時のファイルフォーマットは PDF ファイルとしてください.

謝辞 〔例〕研究遂行にあたり貴重なご助言を賜った田中栄一 日本医用画像工学大学名誉教授に深謝いたします. 本研究は JSPS 科研費 JP12345678 の助成を受けたものです.

利益相反の有無

著者グループが各々の本務とする機関・団体以外の企業あるいは営利団体との利益相反関係がある場合には, ここに利益相反関係を明示してください. なお, 公開の基準については, 「利益相反の取り扱いに関する規定」第3条 (COI 自己申告の基準) を参照のこと.

<http://www.jamit.jp/outline/agreement/rieki.html>

〔例〕本研究の一部は (株)MIT 製薬の研究助成金を得て実施された. 無い場合は, 「なし」と記述してください.

文献

- [1] 田中栄一: 解析的3次元再構成. Med Imag Tech 18: 33-39, 2000
- [2] Ogawa K, Harada Y, Ichihara T et al: A practical method for position dependent Compton-scatter correction in single photon emission CT. IEEE Trans Med Imag 10: 408-412, 1991
- [3] 岸上義彦, 橋本良夫: 画像解析と細胞診. 社内順平編: 応用画像解析. 共立出版, 東京, 1981, pp198-210
- [4] Muehllehner G: Scintillation Camera Collimators. In: Nucelman S, Patton DD eds. Imaging for Medicine Vol. 1. Plenum Press, New York & London 1980, pp77-87